

An aerial photograph of a rural Japanese village. The village consists of numerous traditional-style houses with dark grey roofs, clustered together. The surrounding landscape is a mix of green fields, some of which appear to be agricultural, and brownish, possibly harvested or fallow, fields. In the background, there are rolling hills and mountains covered in dense green forests. The sky is a pale, clear blue. A white, cloud-like shape is superimposed over the upper left portion of the image, containing red Japanese text. At the bottom center, there is a light green rounded rectangular box containing dark blue Japanese text.

わが郷土を愛する

桜井市・出雲区自主防災会

桜井市・出雲区の地域特性

◇世帯数 : 120世帯

◇人口 : 360人

◇高齢化率 : 32%

◆地域特性

- ・初瀬川の渓谷で土砂災害を受けやすい
- ・築100年以上の家屋が30軒程度
- ・高齢者世帯の増加
- ・自治会は明治22年発足

◆出雲区自主防災会の特徴

- ・平成19年5月自主防災会結成
- ・自治会との連携
 - 役員は自治会役員と兼任
 - 役員会は自治会役員会と同時開催(毎月)
- ・少ない予算で効果をあげる
 - 市からの補助と自治会費



出雲区自主防災会の活動

- ◎(1)「過去の災害」を学び、後生に伝える
 - (2)防災・防犯の「地区内巡視」を行う
- ◎(3)一目でわかる「出雲区防災地図」を作成する
- ◎(4)「災害調査表」を活用して被害状況を把握する
 - (5)「防災訓練」を実施する
毎年6班あるうち、2班の訓練を実施し、
3年ですべての班の訓練を実施)
- ◎印:このあと説明する項目

(1)「過去の災害」を学び、後生に伝える

◆活動の概要

「出雲の大火」(1775年)「初瀬流れ」(1811年)の
災害史料を収集して現地調査を行い、
掛軸にして保存する

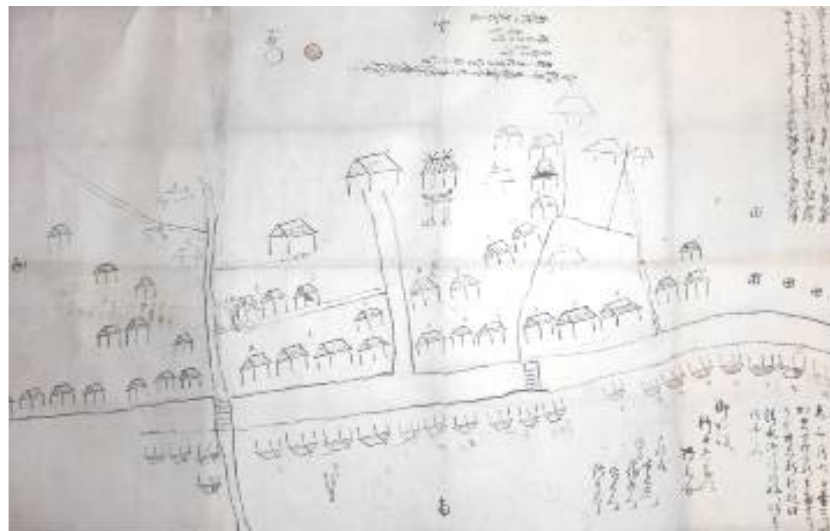
◆目標・ねらい

江戸時代に発生した
「2大災害」を学び、
今後の防災・減災に役立てる



「過去の災害」を学び、後生に伝える(特徴1)

知る



出雲の大火

安永4年(1775年)

代官所(清水御役所)へ差し出された報告書で、美濃判の和紙に家屋、道路、橋などが克明に記入されている。

『安永4年3月5日昼七時より出火、44軒、土蔵26軒、納屋39軒類焼在り、清水御役所へ願ひ上げ申し、絵図面の如し』と記され、庄屋 重右衛門、年寄 勝左衛門、善右衛門、伝重郎の4人が連署されている。



『初瀬流れ』時の出雲村堤防決壊絵図

文化8年(1811年)

近世の初瀬町の災害は万治2年(1659年)10月10日に「不残焼失」とあるのをはじめ、水害も3度報告されているが、この「初瀬流れ」は最大の災厄として今に語り継がれている。

初瀬(里大流記)(細田甚一所蔵)によると、文化8年6月15日夜からの大雨で大洪水が発生し、街道防は荒川のごとくなり、観音境内桜馬場残らず流れ荒川になったと記されている。各町の被害状況は次のとおり

流れた家数と死人

- ・新屋敷 8軒
- ・川上 7軒と土蔵3ヶ所、部屋1軒
- ・桜ノ馬場 全戸4軒と堂1ヶ所と店1軒
- ・上ノ森 全戸11軒 死人24人 建物数知らず
- ・柳原 大切所でかなりの家が流れて、死人13人
- ・新町 全戸流失4軒

このような次第で統計として全戸27軒、蔵32戸分、死人126人

その他棟建物、稲屋、物置の数は知れず。

学ぶ



「過去の災害」を学び、後生に伝える(特徴2)



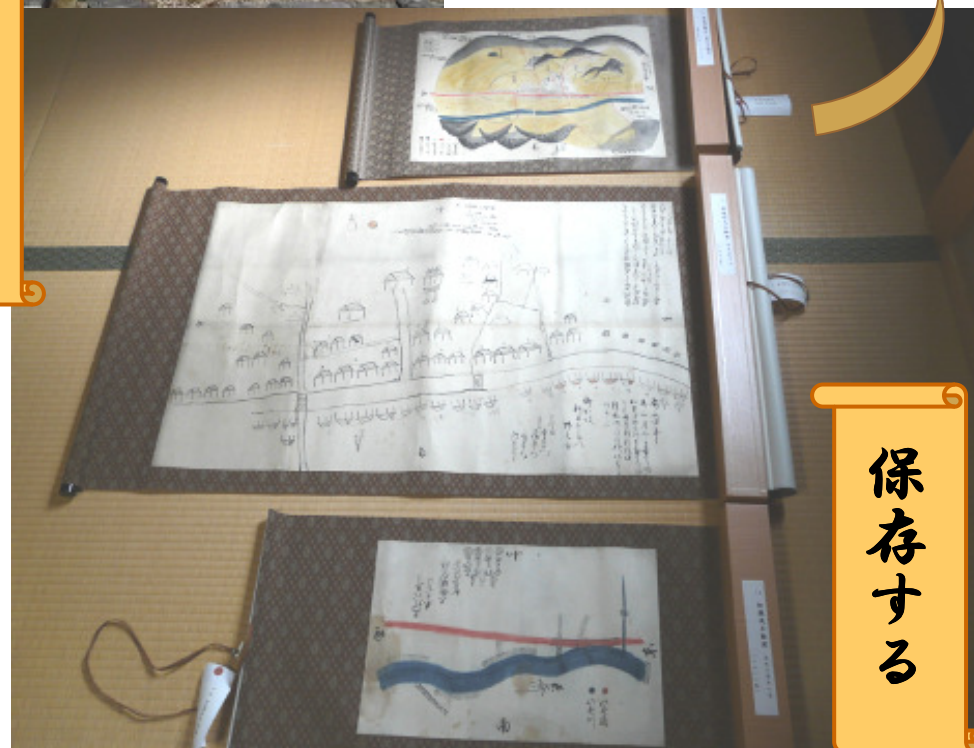
調査する

〈十二柱神社〉

- ・境内地は、第25代武烈天皇の泊瀬列城宮跡の伝承地である
- ・神社の社務所倉庫にあった区有文書の調査をする
- ・古老からの聴き取りをする



古絵図を表装し、
掛軸にして保存する



保存する

出雲区防災地図、連絡網、災害調査表の**三点セット**

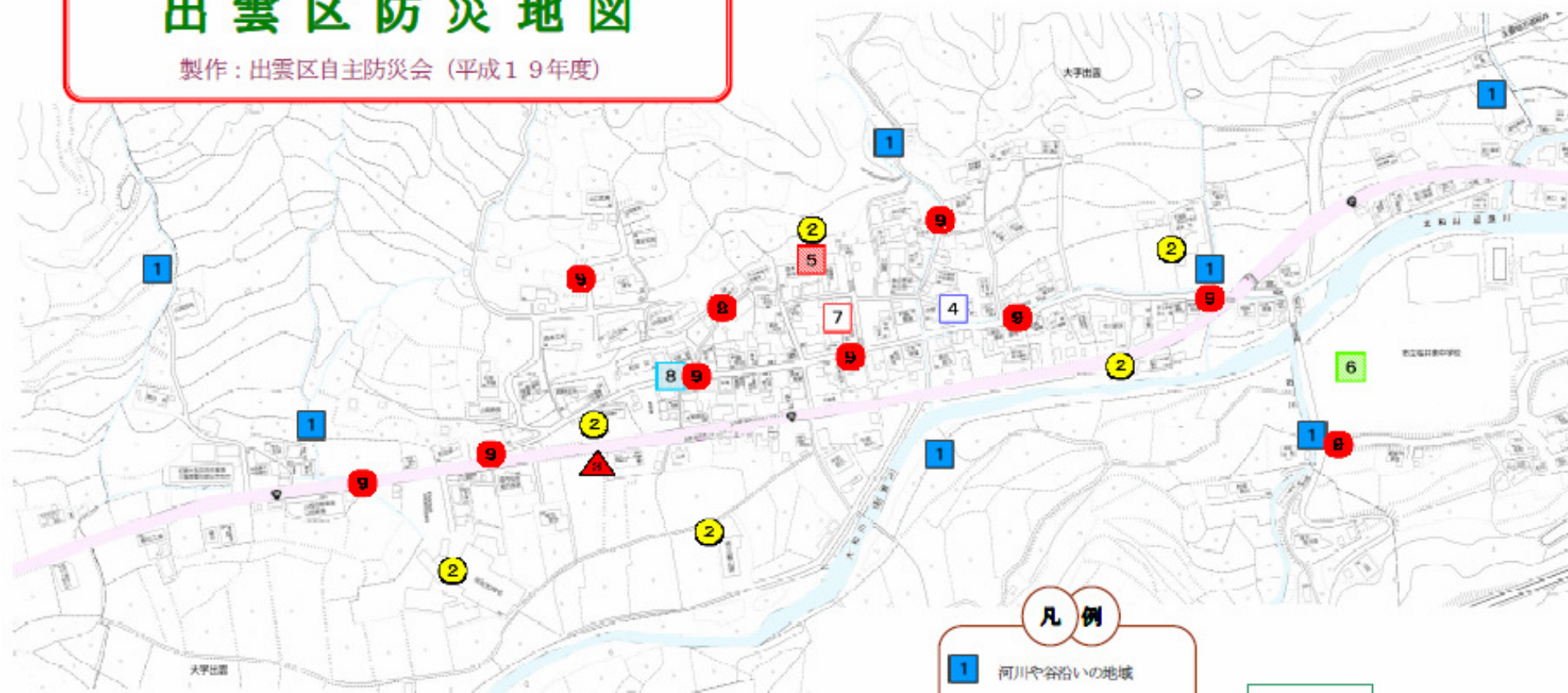
全世帯に配布。

家の目立つところに、クリアーホルダーに入れてひも
でつるしておき、災害時に活用する。



出雲区防災地図

製作：出雲区自主防災会（平成19年度）



緊急連絡先

火事・救急車 119

- 桜井市役所 42-9111
- 桜井警察署 46-0110
- 桜井消防本部 42-4119
- 桜井土木事務所 42-9191
- 桜井市水道局 42-9211
- 関与電力株 0745-53-1131
高田営業所
- 桜井市休日応急診療所 45-3443

いざという時に備えて、日ごろから
家族で話し合いどのように避難をする
か確認しておきましょう。

凡例

- 1 河川や谷沿いの地域
- 2 多数の人が集まる施設
- ▲ 危険物取り扱い施設
- 4 飲用井戸
- 5 一次避難所
- 6 広域避難所
- 7 防災倉庫・消防用機庫
- 8 消防用貯水施設
- 9 消火栓設置場所

非常持出し品

- 非常食（水筒・カンパン・缶詰・粉ミルク）
- 携帯ラジオ（予備電池も用意）
- 懐中電灯（予備電池も忘れず）
- 救急医薬品（キズ薬・カゼ薬・包帯・胃腸薬・鎮痛剤・常備薬・ばんそうこう）
- その他 下着・上着などの衣類
タオル・紙おむつ・生理用品・ライター・ちり紙
- 貴重品 預貯金通帳・印鑑・現金・免許証・健康保険証

出雲区自主防災会組織連絡網

出雲区自主防災会本部

会長	氏名: 携帯:
副会長	氏名: 携帯:
会計	氏名: 携帯:
査計 監査	氏名: 携帯:



災 害 調 査 表

(被害状況は該当項目に丸印をしてください)

隣 組	組	調 査 日	年 月 日 時 頃
世帯主名		調 査 人	
住 所	桜井市出雲		
向三軒両隣名	[] [] []		
	[] []		

被 害 状 況	家 屋	異常なし 全壊 半壊 一部破損 家具倒壊 火災					
		氏 名	死 亡	行 方 不 明	重 傷	軽 傷	特 記 事 項
人 身 被 害	被 害 有 り ・ な し						
避難場所		自宅 十二柱神社 桜井東中学校 他()					
その他被害状況							
<記入欄>							

災害調査表作成手順

1. 上記災害調査表を区から各家庭に配布する。
2. 各家庭は組、世帯主名、住所、向三軒両隣名、同居している家族全員の氏名を記入し、封筒に入れて保管する。

3. 震度5以上の地震等の被害が発生したら、被害状況、避難場所等を記入し、封筒に入れて、組長又は防災会役員にわたす。
(被害がなくても必ず提出してください)
4. 組長又は防災会役員は、災害発生から4時間以内を目途に各家庭より回収して、自主防災会本部長(区長)に提出し報告する。

まとめ

◆成果

- ・活動を続けることによって、組織作りが実現した。
- ・地域を知ることで「地域が好きやねん」という気持ち
が生まれた。

◆感想

- ・子子孫孫まで伝えたい知見が生まれた。
- ・地域を守ろうという気概が生まれた。